

令和元年度 第1回 釜石市男女共同参画推進協議会開催結果

1. 日 時 令和2年3月27日（金） 14:00～15:00
2. 場 所 釜石市役所第1庁舎 第2会議室
3. 出席者等 <出席委員4人>
生田久美子委員、伊瀬聖子委員、万城目千佳代委員、山本理悦子委員
<欠席委員3人>
猪又信幸委員、及川かほる委員、山崎詔子委員
<市側出席者>
市長 野田 武則
総務企画部長 佐々木 勝
総合政策課男女共同参画室室長 藤井 充彦
総合政策課男女共同参画室係長 佐々木 佳苗
総合政策課男女共同参画室主事 猪又 孔太
4. 経過・結果 副会長が佐々木駿氏から猪又信幸氏へ変更となり、紹介を行った。
その後、議題に沿って提示、質疑応答を行った。
5. 結 果
 1. 開 会
 2. 市長挨拶
 3. 議 題
 - (1) 令和元年度男女共同参画室事業活動報告について
 - (2) 令和2年度男女共同参画室事業計画について
 - (3) その他
 4. 閉 会

主な発言は以下のとおり。

- (1) 令和元年度男女共同参画室事業活動報告について

【山本委員】3月8日は国連が定めた世界女性デーだが市としてなにか事業等は実施したか。

【事務局】特に実施していない。

【山本委員】釜石市民ホール TETTO を見たが、ミモザイエローにライトアップされていなかった。

【事務局】「女性に対する暴力をなくす運動」期間は、市民ホールをパープルにライトアップしているが、これは市民ホールが建設される際に依頼して色の調整をしてもらったもの。市民ホール建設時にすでに調整している色であれば無料でライトアップしてもらえるが、そうではない色にライトアップするには数十万円の費用が必要となる。

【万城目委員】中学生を対象に思春期講演会に行っているようだが生徒達はどのような反応か。

【事務局】講演会の中では生命の大切さやLGBT等についても話していただいております。事後アンケートでは、生命があるのは奇跡だということが分かったという意見やLGBTについて理解した等の意見が多く反応は良好である。

【万城目委員】大人を集めて講座等を行おうと思っても中々集まらないのが現状。子どもの認識を変えることで大人の認識も一緒に変わっていくかもしれない。

【山本委員】3ページのデートDV 予防啓発事業の講師のBLT いわてのBLTとはどういう意味か。

【事務局】Bは繋がるという意味のBondの頭文字。LとTも英単語の頭文字であるが、申し訳ないが把握していない(注1)。また、一般的にBLTというとベーコン・レタス・トマトが連想されるが、身近に親しみをもってほしいという意味を込めてベーコン・レタス・トマトの頭文字と前述の英単語の頭文字を掛け合わせたと聞いている。

【伊瀬委員】LGBTというキーワードも出たが学校において例えばLGBTに関して差別があるか等そういった実態調査は行っているのか。

【事務局】そういった調査まではできていない。ただ、養護教諭間で勉強会のようなものを立ち上げ、相談があった場合の対応を検討していると聞いている。

【伊瀬委員】教員への啓発活動もやっていければよいと思う。

(2) 令和2年度男女共同参画室事業計画について

- 【山本委員】説明の中で、男女共同参画室が統計業務を兼務しており国勢調査が実施される関係上、実施できなくなる業務が多くなるということだが、足踏みしてしまうか、あるいは、後退してしまうのかという懸念がある。忙しいとは思いますが令和3年度には、何ができるのか次の機会にお示ししていただけることを期待する。
- 【事務局】統計係と兼務していることから令和2年度に実施できなくなる業務があることについては、申し訳なく思う。昨年策定したプランの目標達成に向けて進んでいかなければならないと思っているので、令和3年度には、遅れを取り戻すよう新たな取り組み等を皆様との意見交換を踏まえて検討し、提示していきたい。
- 【生田委員】総合計画の中にも男女共同参画の視点も盛り込んでもらうことが大事だと思う。色々な業務の事情があると思うので、少なくともそういう取り組みはしっかりやってもらいたい。
- 【事務局】今、庁内職員で議論をしている段階で、その中で項目として男女共同参画というのも盛り込んでいる。他の施策との関連や男女共同参画プランとの整合性も見ながら総合計画を策定していく方向で考えている。
- 【伊瀬委員】総合計画の話が出たが、自分も未来づくり委員になっている。参画を前に押し出していきたいが、現状そういった意見は全く出ていない。意見として出てはいないがそういった部分についても盛り込んでいくということによろしいか。
- 【事務局】未来づくり委員会は委員がそれぞれの立場でお話になるので、漏れている部分もあるかと思う。市としてやっていかなければならない施策については、拾い上げて計画に盛り込むというスタンスで考えている。
- 【伊瀬委員】それが文字として出てくるのはいつ頃になるか。
- 【事務局】市民の方にお披露目をして意見をいただくというのは、秋頃になるかと思う。
- 【山本委員】国勢調査を実施する中でも市で実施できる事業があれば、協力していきたいと思う。
- 【伊瀬委員】今、山本委員から力強いご意見があったが、国勢調査があるからやらないというのではなく、男女共同参画サポーターと協力する等して実施すれば、市の負担も軽減するだろうし、何から何までやってくれということではないので、事業が実施できるようにお手伝いをしていきたいと思う。
- 【山本委員】県男女共同参画サポーター養成講座も市の職員の送迎ができなくなると盛岡市までの足の確保を自分でしなければならず、周りの人達にもあまりお薦めできなくなる。
- 【事務局】送迎ができない場合は、補助金として片道分の自動車賃相当額を支給することとしているが、市職員による送迎があるから受講するという方が毎年いらっしゃることは承知している。令和3年度からは、送迎を再開できるようにしたい。
- 【伊瀬委員】補助金について片道分だけの旅費を支給するというのはいかがか。
- 【生田委員】何人分を予算化しているのか。
- 【事務局】3人分を予算化している。予算要求の段階で自分の勉強のために受講するので全額ではなく半額という考え方があった。
- 【生田委員】自分から勉強したいと言って盛岡市まで通うという人は中々いないのではないか。市からの強い後押しがないと難しいと思う。これだと「旅費を半分出してやるんだから」という後ろ向きな印象を与えてしまい誰も行かないと思う。講座は一日がかりで受講しなければならず負担も大きい。市を応援するためのサポーターでもあるのだから募集人数を減らしてでも全額を出してあげなければ、仲間は増えないと思う。今まで車の送迎してきた背景がある中で旅費を半額支給といっても魅力が感じられない。予算はすでに決まってしまうと思うがもう少し考えてほしいと思う。
- 【事務局】以前、要綱を制定する前に送迎が出来なくなったことがあり、車賃で旅費を支給した経緯があるが、市の規定では1キロメートルあたり37円として算出するため、実際にかかるガソリン代と乖離が生じてしまった。多くの方は車を運転して受講するだろうという見込みもあり、実態としてガソリン代はそこまでかからないだろうという事と市として厳しい財政状況下にあるという事で片道分の自動車賃相当額になってしまった。
- 【伊瀬委員】折角、サポーターになられた方の活用が全然進まない中で、悪循環になってしまっている。民間団体がいるから実施できている事業もあり、民間団体が手を引いてしまった時に継続して事業が実施できるのか疑問に思う。片道分の旅費の予算が浮いた所でどこの部分が助かるのか。
- 【事務局】小さい金額が積み重なって大きな事業が成り立っていることをご理解いただきたい。

- 【伊瀬委員】やはり人数を減らしてでも往復分の旅費を出してあげるべきではないか。
- 【万城目委員】「片道分の旅費を出すから行って来て」というのは、気持ちが良くない。
- 【山本委員】片道分だけというのは、やはり理不尽だと感じる。もしも応募人数が3人に満たなかった場合、往復分の旅費を支給するというのは可能か。
- 【事務局】現在、定めている要綱を改正すれば可能。実際の応募状況を見てなるべく受講者の負担にならないようにしたい。
- 【山本委員】市の為に協力したいという思いもあり、受講するのだから受講者を大事にしてほしい。
- 【万城目委員】サポーター養成講座の受講者の募集はいつ頃行うのか。
- 【事務局】5月に募集を行う。5月15日号の広報かまいしに記事を掲載する予定としている。

(3) その他

- 【山本委員】ラグビーワールドカップ2019の開催に伴い、大渡橋の高架橋の下にラグビーのラッピング写真が貼られていた。格好良い写真であったが、実際に歩いてみると男性の下半身がちょうど目線の高さであり、目のやり場に困った。考え様によっては、あれはセクハラだと思った。写真を貼る作業を行っていた時も剥がす作業を行っていた時も女性スタッフは1人もいなかった。市が関連する時は、そういった細かい点にも配慮してほしい。
- 【山本委員】子どもを産むかどうか決定するのは女性だという動きが世の中で出てきている。その事で市に相談があった場合、どこに繋げていくか、この先そういった話も出てくると思う。

(注1) 山本委員からの質問。BLT いわての BLT とは、繋がるという意味の Bond、学ぶという意味の Learn、伝えるという意味の Tell の頭文字を組み合わせたもの。